

『それぞれの卒業式』

「平成2年度卒業生、1組、土屋昌治」卒業式の呼名が始まった。



3年1組担任
番場 浩 先生

はつきり言って緊張した。情けない話だが私はちよっぴり涙もろい所があり心配だった。失敗しないよう、顔を確認すると、思いが浮かんでくる。苦勞した奴ほど印象深いものだ。主役は俺じゃあない。奴らなんだ。そう自分に言い聞かせ頑張った。最後の鈴木ゆみ子呼び終えた時私にとっての卒業式は終わった。

『忘れません』

生徒のいなくなった教室に佇むとたくさんの笑顔が浮かんでくる。



3年2組担任
小田島和枝 先生

いつも額に汗して働いてくれた顔、お花を飾ってくれた顔、モルダウの流れを歌っている顔、にこにしながら友人と話している顔、スキー教室のいきいきした顔、レクリエーションの案をねっている顔、応援団の汗まみれの顔、受験に悩んだ顔。思い出すたくさんの顔、忘れません。そしてみなさんの幸せを祈っています。

『再会を楽しみに』

卒業式後の教室に立つ。何とも言えない静寂が漂う。ただ、ま



3年4組担任
柴山 浩恒 先生

だ通過点に過ぎない。4月になれば、また何気ない生活に戻り、浸る。君たちも同じことだろう。忘れてゆくことだろう。しかし君たちが、この教室で何を見つめ、感じ、何を待たのか。自分の足あとをみとくといいだろう。新しい門出にきつとブラスになる。3年いや、5年後、君たちとの再会を楽しみに、お元気で。

『楽しい卒業式』

卒業式から連想されるものの代表は、「涙」であろう。しかし、



3年3組担任
中岡 利行 先生

我が3組は違っていた。普段から笑いの絶えない学級。悲しさの似合わない学級。自他共に認める特徴を持った3組の生徒諸君は、最後の別れも明るく、笑顔で旅立っていった。出会いは別れの始まり。この日が来ることは初めからわかっていった。新たな出会いを求めて、明るく元気良く、力強くこれからの人生を歩んでほしい。

『ありがとうございました』

『自分の可能性に向かってチャレンジ』



作間内
鈴木俊雄さん

卒業式に望んだ態度は、りっぱで感心しました。男の子でいろいろ心配でしたが、進路が決まり安心していきます。

しいです。

『自分自身をしっかりと見つめてほしい』



篠本2区
大木由己子さん

これからは、自分の可能性に向かってチャレンジしてほしいです。張ってもらいたいです。

菜の花がお祝い



それぞれの胸に6年間の思い出が...

東陽小 卒業式

3月19日、暖かな日ざしの中東陽小学校で卒業式が行われました。

会場内は、多数の来賓、在校生、父兄の方々が見守るなか、中学の制服に身を包んだ6年生一人一人に、校長先生から卒業証書が手渡されました。この日の会場は、6年生自ら育てあげた菜の花で壇上周辺が埋めつくされ、香りを漂よわせていました。